大雨や台風に備えて

近年、全国的に大雨による災害が長期化・甚大化するケースが多くなっています。市でも災害発生報告件数が増加しています。いざというときのために、避難ができる準備はできていますか？日頃から準備すべき4つのポイントを紹介します。

市で発生した災害と件数

	大雨警報などの発表回数	災害発生報告件数
令和4年度	7件	90件
令和5年度	2件	177件

令和4年度に比べて令和5年度は警報などの発表回数は減っていますが、**災害件数は増えています。**
油断は禁物！

備え1 警戒レベル、市から発令される避難情報と取るべき行動を確認!

警戒レベル	避難情報など	避難情報を発令した事例(令和3年)	取るべき行動
5	緊急安全確保	・天井川の破堤、越水による家屋などの浸水 ・土砂崩れによる家屋の損壊	既に災害が起こっている状態のため、そのとき一番安全な場所※1へ直ちに避難し、とにかく命を守る
4	避難指示	・河川水位がはん濫危険水位に到達 ・気象台と県による土砂災害警戒情報の発表	危険な場所※2にいる人は全員直ちに安全な場所※1に避難
3	高齢者等避難	・台風の接近 ・夜間に大雨が予想されたとき	高齢者など避難に時間がかかる人は、危険な場所※2から安全な場所※1に避難
2	気象庁の大雨・洪水・高潮注意報	―	避難行動を確認する

ここまでに避難を完了してください。

※警戒レベル1では最新の気象情報に注意しましょう。
※1 避難場所のほか、安全な場所にある親族や知人宅など。屋外へ避難することが危険な場合は、山側から離れた建物の2階などの高い部屋。
※2 ハザードマップ上で「土砂災害警戒区域」や「浸水想定区域」の範囲内にある場所。

備え2 ハザードマップで自宅などの災害リスクを確認!

土砂災害警戒区域や浸水想定区域の範囲を示したマップや避難場所が確認できます。自分や家族の生活圏が各区域に含まれていないか確認しておきましょう。

「デジタルマップみはら」の確認方法 ～スマートフォンの場合～

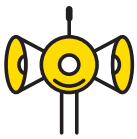
▲市HP
デジタルマップみはら

① 二次元コードを読み取り、デジタルマップみはらにアクセス
② 「防災・安全・安心」から確認したいマップの情報を選択
③ 「地図を表示」または「住所を指定して地図を表示」を選択

備え3 情報の入手手段を確認!

避難情報や避難所開設情報などを発信しています。複数の手段で情報入手ができるよう、市配信メールや市公式LINEなどの登録をしておきましょう。

電池確認!
FM告知端末ラジオ



屋外スピーカー

- 市配信メール
- 市公式X（旧Twitter）
- 市公式LINE
- 市公式Facebook
- 市HP

PC、スマートフォンなどで確認

備え4 避難計画をつくりましょう!

避難場所に安全にたどり着ける経路や避難に掛かる時間を把握しましょう。

※広島県のHPや公式LINEから、災害に備えて自分や家族の避難行動を計画する「マイ・タイムライン」を作成できます。

▲県HP

問 危機管理課
(TEL 0848-67-6066
FAX 0848-67-6164)

地震に備えて

日本は地震多発地域で、全国どこでも巨大地震が発生する可能性があります。平成13年３月に発生した芸予地震では、市内でも最大震度５強を観測。また、令和6年4月17日に豊後水道で発生した地震では、愛媛県・高知県で震度6弱、三原市では最大震度3を観測しています。今後30年以内に70～80％の確率で発生するといわれている「南海トラフ巨大地震」では、市内でも大きな被害が想定されています。まずは、家庭で地震対策をしていきましょう。

平成13年芸予地震被害

- ●最大震度 …… 震度5強
- ●重 傷 …… 8人
- ●中軽傷 …… 27人
- ●家屋の半壊 …… 139件
- ●一部破損 …… 2,233件

南海トラフ巨大地震 三原市の被害想定

※この情報は広島県において被害が最大となるケースの想定です。

県地震被害想定調査報告書(平成25年10月作成)

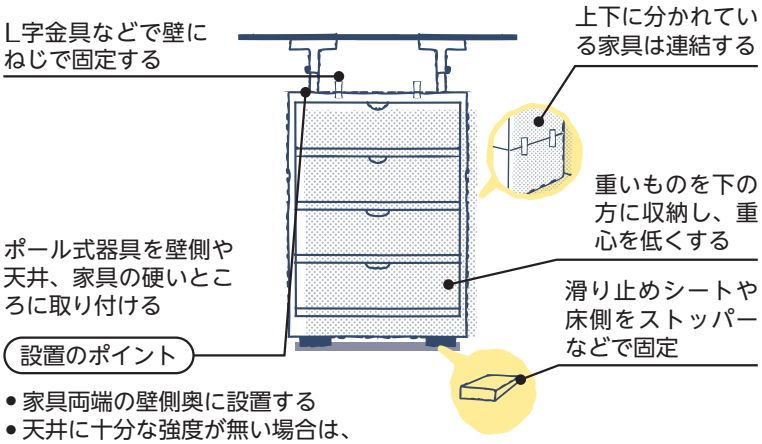
- ●最大震度 …… 震度6強
- ●死者数 … 1,044人(津波被害876人)
- ●負傷者数 …… 2,558人
  (建物倒壊による負傷2,284人)
- ●建物被害 …… 21,059棟
  (全壊、半壊、焼失)

備え！ 家具などの転倒防止を!

地震で建物が倒壊しなくても、家具や家電製品の転倒や落下、ガラスの飛散などで大けがをしたり、屋外への逃げ道がふさがれたりする場合があります。家具などはしっかりと固定し、室内の安全を確保してください。

本棚やタンス

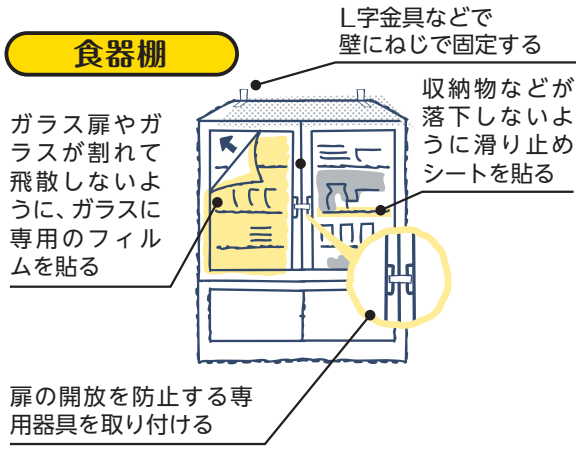
一つだけでなく複数の対策を併用しましょう



設置のポイント

- 家具両端の壁側奥に設置する
- 天井に十分な強度が無い場合は、天井側に家具の幅以上のあて板などで補強する
- 天井までの間隔は狭い方が良い
- 床側をストッパーで固定するなど、上下で対策する

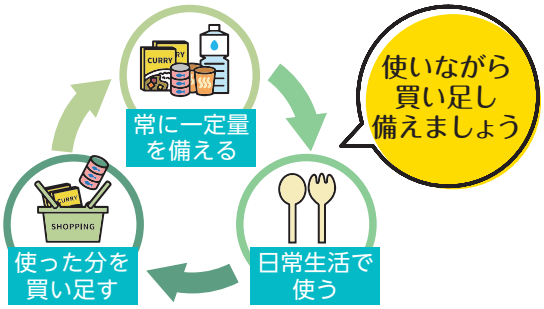
食器棚



大雨・台風・地震などの災害に備え非常持ち出し品を準備!

地震や津波に限らず、大雨や台風などでも救援物資がすぐに届かないことを想定し、最低３日間は避難生活が送れることを目安に、必要なものを準備しておきましょう。非常持ち出し品は、リュックサックなどに入れて、いつでも持ち出せる場所に備えておきましょう。

リュックサックなどに入れておくもの(例)

●乾パン、缶詰などの食料品　●飲料水　●懐中電灯
●マスク　●携帯ラジオ　●モバイルバッテリー
●簡易トイレ　●洗面用具、タオル、下着などの生活用品　●ブランケット　●常備薬　など

ローリングストック